



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 東宝株式会社 上場取引所 東・福
コード番号 9602 URL <https://www.toho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 宏 泰
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員コーポレート本部経理財務担当 (氏名) 加藤 陽 則 (TEL) 03(3591)1218
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収入 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期第3四半期 | 234,169 | 15.3 | 52,801 | 26.9 | 51,552 | 16.7 | 34,141 | 20.2 |
| 2024年2月期第3四半期 | 203,100 | 13.0 | 41,610 | 16.0 | 44,182 | 8.0 | 28,402 | 4.7 |

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 34,731百万円(△16.1%) 2024年2月期第3四半期 41,374百万円(52.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期第3四半期 | 200.38 | — |
| 2024年2月期第3四半期 | 162.68 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年2月期第3四半期 | 594,557 | 469,041 | 76.2 |
| 2024年2月期 | 615,826 | 484,755 | 74.5 |

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 453,000百万円 2024年2月期 458,890百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年2月期 | — | 20.00 | — | 65.00 | 85.00 |
| 2025年2月期 | — | 35.00 | — | — | — |
| 2025年2月期(予想) | — | — | — | 35.00 | 70.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収入 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 297,000 | 4.8 | 62,000 | 4.6 | 60,000 | △4.8 | 40,000 | △11.7 | 234.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社サイエンスSARU、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2025年2月期3Q | 186,490,633株 | 2024年2月期 | 186,490,633株 |
| 2025年2月期3Q | 16,957,643株 | 2024年2月期 | 12,490,741株 |
| 2025年2月期3Q | 170,386,779株 | 2024年2月期3Q | 174,586,049株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (収益認識関係) | 12 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気の緩やかな回復基調が見られる一方、海外景気の下振れによる景気の下押しリスクや物価上昇、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下において当社グループでは、2022年4月に策定した「中期経営計画 2025」の最終年度にあたり、映画、アニメ、演劇、不動産の「事業の4本柱」それぞれにおいてさらなる成長を目指し、積極的な投資や着実な事業展開を進めております。当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収入は2341億6千9百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は528億1百万円（同26.9%増）、経常利益は515億5千2百万円（同16.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は341億4千1百万円（同20.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

映画事業

映画営業事業では、東宝㈱において、共同製作や配給した作品のうち、「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」が大ヒット、「キングダム 大將軍の帰還」「ラストマイル」「変な家」「映画ドラえもん のび太の地球交響楽」「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト」「映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記」「室井慎次 敗れざる者」「室井慎次 生き続ける者」「スオミの話をしよう」がヒットいたしました。また、東宝東和㈱において配給した「怪盗グルーのミニオン超変身」もヒットいたしました。前連結会計年度中に公開された「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」も高稼働となりました。その他、「ゴジラ-1.0」の国内外における配信権収入やテレビ放映権収入が業績に寄与いたしました。これらの結果、映画営業事業の営業収入は44,723百万円（前年同期比34.7%増）、営業利益は18,737百万円（同60.6%増）となりました。なお、上記営業収入の主な内訳として、映画館への配給が27,124百万円（前年同期比6.3%増）、劇場用映画の国内配信が2,777百万円（同190.4%増）となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ㈱等において、上記配給作品の他、「インサイド・ヘッド2」等の話題作を上映いたしました。当第3四半期連結累計期間における映画館入場者数は28,606千人と前年同期比7.3%の減少となりました。これらの結果、映画興行事業の営業収入は56,057百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は7,569百万円（同16.7%減）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間中の劇場の異動はありません。当企業集団の経営するスクリーン数は全国で722スクリーン（共同経営56スクリーンを含む）となっております。

映像事業では、東宝㈱において、「僕のヒーローアカデミア」「呪術廻戦」「ハイキュー!!」「葬送のフリーレン」「SPY×FAMILY」「怪獣8号」「薬屋のひとりごと」等、製作・配給いたしましたTOHO animation作品の国内外の配信・商品化権収入に加え、各種配分金収入が業績に大きく貢献いたしました。パッケージ事業では「ゴジラ-1.0」が好調なセールスとなった他、TOHO animation作品の「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」「葬送のフリーレン」「ウマ娘 プリティーダービー」等の販売が伸びました。出版・商品事業では、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいて「劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト」をはじめとする当社配給作品の販売が好調に推移いたしました。また、「ハイキュー!!」をはじめとするTOHO animation作品や生誕70周年を迎えた「ゴジラ」を中心とする東宝怪獣キャラクターのキャラクターグッズ販売が大きく伸び営業収入に寄与いたしました。㈱東宝ステラでは、ECサイトでの販売が好調に推移いたしました。TOHOスタジオ㈱では、制作及びスタジオ事業の一体運営を図り、堅調に稼働いたしました。㈱東宝映像美術及び東宝舞台㈱では、原価管理に努めながら、映画やTV・ライブイベント等での舞台製作・美術製作やテーマパークにおける展示物の製作業務、メンテナンス業務等を受注いたしました。これらの結果、映像事業の営業収入は57,459百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益は15,051百万円（同68.6%増）となりました。なお、上記営業収入の主な内訳として、アニメコンテンツの利用が24,482百万円（前年同期比28.9%増）、パッケージの販売が5,422百万円（同11.2%増）、映像作品等に係る美術製作が6,948百万円（同5.4%増）となりました。

以上の結果、映画事業全体では、営業収入は158,240百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は41,357百万円（同39.3%増）となりました。

演劇事業

演劇事業では、東宝(株)の帝国劇場におきまして、「舞台『千と千尋の神隠し』」「Endless SHOCK (Endless SHOCK/ Endless SHOCK Eternal)」「ムーラン・ルージュ!ザ・ミュージカル」「モーツァルト!」「DREAM BOYS」「Endless SHOCK」を上演し全席完売となりました。シアタークリエにおきましては「ファンレター」が満席となった他、「骨と軽蔑」「町田くんの世界」「CROSS ROAD～悪魔のヴァイオリニスト パガニーニ～」 「ナビレラーそれでも蝶は舞うー」「ライムライト」「VOICARION XVIII～Mr.Prisoner～」 「tick, tick...BOOM!」等を上演いたしました。また、「舞台『千と千尋の神隠し』」「モーツァルト!」「ムーラン・ルージュ!ザ・ミュージカル」等の社外公演を展開し、「舞台『千と千尋の神隠し』」はロンドン・コロシウムでのロングラン公演も大盛況となりました。その他、初演から24年を経て大千穂楽を迎えた「Endless SHOCK」のライブビューイングを全国の映画館で実施し、好評を博しました。東宝芸能(株)では、所属俳優がCM出演等で堅調に推移いたしました。

以上の結果、演劇事業の営業収入は16,247百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は2,534百万円（同12.3%増）となりました。

不動産事業

不動産賃貸事業では、前連結会計年度末に(株)東京楽天地を連結子会社としており、当第3四半期連結累計期間より経営成績に含んでおります。賃貸用不動産の空室率は、当第3四半期連結会計期間末において0.9%となりました。再開発物件や新規に取得した物件の寄与がございましたが、大規模修繕費など一時的な費用の増加もあったことから、不動産賃貸事業の営業収入は28,345百万円（前年同期比29.3%増）、営業利益は8,758百万円（同0.9%減）となりました。なお、2024年9月に「住之江建物」（複合商業施設「アクロスプラザ住之江」）が竣工いたしました。

道路事業では、公共投資が底堅く推移しましたが、慢性的な建設技能者の不足や建設業界にも適用された「働き方改革関連法」への対応が喫緊の課題となる等、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況の中、スバル興業(株)と同社の連結子会社は、一般競争入札における総合評価落札方式への対応強化を図り各種工事の受注に努めましたが、採算性の高い工事の減少がありました。その結果、道路事業の営業収入は21,834百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は3,538百万円（同10.3%減）となりました。なお、営業収入の主な内訳は、道路の維持管理・清掃等20,143百万円（前年同期比2.4%増）であり、またその他の収益687百万円（同8.7%増）が含まれております。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)及び東宝ファシリティーズ(株)において、原材料価格の高騰や人手不足が継続する中、新規受注や品質向上に取り組むとともに請負金額の改定や業務の効率化等に努めました。その結果、営業収入は8,480百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は985百万円（同18.1%増）となりました。

以上の結果、不動産事業全体では、営業収入は58,660百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は13,281百万円（同2.5%減）となりました。

その他事業

東宝共栄企業(株)の「東宝調布スポーツパーク」やTOHOリテール(株)の劇場売店等において、積極的な営業活動に努めました。その結果、その他事業の営業収入は1,020百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は176百万円（同8.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は21,269百万円減少し、594,557百万円となりました。これは現金及び預金で7,140百万円、棚卸資産で4,349百万円、土地で15,473百万円の増加がありましたが、有価証券で4,135百万円、現先短期貸付金で29,000百万円、投資有価証券で11,561百万円の減少があったこと等によるものです。

負債では前連結会計年度末から5,555百万円減少し、125,515百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して15,714百万円減少し、469,041百万円となりました。これは利益剰余金で16,929百万円の増加、自己株式が22,318百万円の増加、非支配株主持分で9,824百万円の減少があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績予想につきましては、2024年10月15日付「2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信」において公表いたしました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 38,733 | 45,874 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 42,075 | 42,608 |
| 有価証券 | 41,200 | 37,065 |
| 棚卸資産 | 13,130 | 17,479 |
| 現先短期貸付金 | 34,999 | 5,999 |
| その他 | 38,396 | 29,019 |
| 貸倒引当金 | △32 | △36 |
| 流動資産合計 | 208,503 | 178,009 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 104,116 | 106,033 |
| 土地 | 104,539 | 120,013 |
| 建設仮勘定 | 5,738 | 3,676 |
| その他（純額） | 10,456 | 10,473 |
| 有形固定資産合計 | 224,851 | 240,197 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,927 | 5,684 |
| その他 | 5,089 | 6,687 |
| 無形固定資産合計 | 7,017 | 12,372 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 154,175 | 142,613 |
| その他 | 21,373 | 21,474 |
| 貸倒引当金 | △93 | △109 |
| 投資その他の資産合計 | 175,454 | 163,978 |
| 固定資産合計 | 407,323 | 416,547 |
| 資産合計 | 615,826 | 594,557 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 32,765 | 24,846 |
| 短期借入金 | 41 | 24 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,124 | 432 |
| 未払法人税等 | 12,002 | 7,262 |
| 賞与引当金 | 1,226 | 716 |
| その他の引当金 | 86 | 86 |
| 資産除去債務 | 25 | 169 |
| その他 | 21,868 | 32,895 |
| 流動負債合計 | 69,141 | 66,434 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,189 | 1,652 |
| 退職給付に係る負債 | 4,004 | 4,025 |
| 役員退職慰労引当金 | 162 | 159 |
| その他の引当金 | 86 | — |
| 資産除去債務 | 8,079 | 8,312 |
| その他 | 47,406 | 44,932 |
| 固定負債合計 | 61,929 | 59,081 |
| 負債合計 | 131,071 | 125,515 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,355 | 10,355 |
| 資本剰余金 | 14,216 | 14,243 |
| 利益剰余金 | 439,921 | 456,851 |
| 自己株式 | △42,827 | △65,145 |
| 株主資本合計 | 421,667 | 416,304 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 34,216 | 33,298 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 59 |
| 為替換算調整勘定 | 2,642 | 2,944 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 363 | 393 |
| その他の包括利益累計額合計 | 37,223 | 36,695 |
| 非支配株主持分 | 25,865 | 16,041 |
| 純資産合計 | 484,755 | 469,041 |
| 負債純資産合計 | 615,826 | 594,557 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 営業収入 | 203,100 | 234,169 |
| 営業原価 | 111,823 | 124,925 |
| 売上総利益 | 91,276 | 109,243 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 人件費 | 17,013 | 19,440 |
| 広告宣伝費 | 5,571 | 7,745 |
| 賞与引当金繰入額 | 143 | 250 |
| 退職給付費用 | 784 | 738 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 21 | 31 |
| 借地借家料 | 6,781 | 6,587 |
| その他 | 19,348 | 21,648 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 49,665 | 56,442 |
| 営業利益 | 41,610 | 52,801 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 581 | 236 |
| 受取配当金 | 1,155 | 1,492 |
| 持分法による投資利益 | 218 | — |
| 為替差益 | 417 | 293 |
| その他 | 276 | 421 |
| 営業外収益合計 | 2,649 | 2,443 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 56 |
| 持分法による投資損失 | — | 3,605 |
| 子会社清算損 | 51 | — |
| その他 | 19 | 30 |
| 営業外費用合計 | 77 | 3,692 |
| 経常利益 | 44,182 | 51,552 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 207 | 76 |
| 受取保険金 | — | 20 |
| 受取承諾料 | — | 300 |
| 特別利益合計 | 207 | 396 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産圧縮損 | — | 9 |
| 出資金評価損 | 107 | — |
| 立退補償金 | — | 150 |
| 特別損失合計 | 107 | 159 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 44,283 | 51,789 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,043 | 17,132 |
| 法人税等調整額 | 1,643 | △601 |
| 法人税等合計 | 14,686 | 16,530 |
| 四半期純利益 | 29,596 | 35,259 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,194 | 1,118 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 28,402 | 34,141 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 29,596 | 35,259 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,736 | △918 |
| 為替換算調整勘定 | 1,957 | △93 |
| 退職給付に係る調整額 | 76 | 29 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 7 | 454 |
| その他の包括利益合計 | 11,778 | △527 |
| 四半期包括利益 | 41,374 | 34,731 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 40,180 | 33,613 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,194 | 1,118 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 44,283 | 51,789 |
| 減価償却費 | 7,521 | 9,306 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △73 | 20 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,736 | △1,729 |
| 支払利息 | 6 | 56 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △218 | 3,605 |
| 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) | △215 | △391 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △2,391 | △1,751 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △4,504 | △7,968 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 202 | △730 |
| その他 | 3,033 | 5,695 |
| 小計 | 45,906 | 57,904 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,916 | 1,777 |
| 利息の支払額 | △10 | △57 |
| 法人税等の支払額 | △18,517 | △21,462 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 29,294 | 38,161 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △37,595 | △14,990 |
| 有価証券の売却による収入 | 41,200 | 49,810 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △16,151 | △24,550 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 214 | 320 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △13,601 | △4,075 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △12,423 |
| 貸付けによる支出 | △1 | △722 |
| 貸付金の回収による収入 | 6 | 504 |
| 金銭の信託の取得による支出 | △2,300 | △700 |
| 金銭の信託の解約による収入 | 2,300 | 3,300 |
| その他 | △3,254 | △6,796 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △29,182 | △10,324 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | — | 20,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △20,000 |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 55 | △16 |
| 長期借入金の返済による支出 | △72 | △1,391 |
| 自己株式の取得による支出 | △6 | △20,059 |
| 配当金の支払額 | △10,412 | △17,062 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △429 | △526 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △6 | △0 |
| リース債務の返済による支出 | △141 | △12 |
| その他 | 9 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △11,004 | △39,069 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,132 | 6 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △8,759 | △11,225 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 112,121 | 82,424 |
| 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 6 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 103,369 | 71,198 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月15日開催の取締役会決議に基づき自己株式4,000,000株の取得を行っております。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が22,318百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が65,145百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|----------|----------|-----------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 映画 事業 | 演劇 事業 | 不動産 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 136,262 | 14,508 | 51,393 | 202,164 | 935 | 203,100 | — | 203,100 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,835 | 24 | 3,829 | 5,688 | 232 | 5,921 | △5,921 | — |
| 計 | 138,097 | 14,532 | 55,223 | 207,853 | 1,168 | 209,021 | △5,921 | 203,100 |
| セグメント利益又は損失(△) | 29,680 | 2,256 | 13,619 | 45,556 | 191 | 45,748 | △4,137 | 41,610 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設の経営事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,137百万円は、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,136百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|----------|----------|-----------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 映画 事業 | 演劇 事業 | 不動産 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 158,240 | 16,247 | 58,660 | 233,148 | 1,020 | 234,169 | — | 234,169 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,864 | 242 | 3,847 | 5,954 | 207 | 6,162 | △6,162 | — |
| 計 | 160,105 | 16,490 | 62,507 | 239,103 | 1,228 | 240,331 | △6,162 | 234,169 |
| セグメント利益又は損失(△) | 41,357 | 2,534 | 13,281 | 57,173 | 176 | 57,350 | △4,548 | 52,801 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設の経営事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,548百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,548百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|------------------|---------|--------|--------|-----|---------|
| | 映画事業 | 演劇事業 | 不動産事業 | | |
| 主要なサービス | | | | | |
| 映画館への配給 | 25,513 | — | — | — | 25,513 |
| 劇場用映画の国内配信 | 956 | — | — | — | 956 |
| 映画館の経営 | 58,956 | — | — | — | 58,956 |
| アニメコンテンツの利用 (※1) | 18,987 | — | — | — | 18,987 |
| パッケージの販売 | 4,875 | — | — | — | 4,875 |
| 映像作品等に係る美術製作 | 6,593 | — | — | — | 6,593 |
| 演劇の製作・興行 | — | 14,508 | — | — | 14,508 |
| 道路の維持管理・清掃等 | — | — | 19,663 | — | 19,663 |
| 不動産の保守・管理 | — | — | 7,837 | — | 7,837 |
| その他 | 20,378 | — | 1,342 | 935 | 22,657 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 136,262 | 14,508 | 28,844 | 935 | 180,550 |
| その他の収益 (※2) | — | — | 22,549 | — | 22,549 |
| 外部顧客への売上 | 136,262 | 14,508 | 51,393 | 935 | 203,100 |

(※1) アニメコンテンツの利用は、主に配信を中心とした番組販売や商品化権収入等であります。

(※2) その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 |
|------------------|---------|--------|--------|-------|---------|
| | 映画事業 | 演劇事業 | 不動産事業 | | |
| 主要なサービス | | | | | |
| 映画館への配給 | 27,124 | — | — | — | 27,124 |
| 劇場用映画の国内配信 | 2,777 | — | — | — | 2,777 |
| 映画館の経営 | 56,057 | — | — | — | 56,057 |
| アニメコンテンツの利用 (※1) | 24,482 | — | — | — | 24,482 |
| パッケージの販売 | 5,422 | — | — | — | 5,422 |
| 映像作品等に係る美術製作 | 6,948 | — | — | — | 6,948 |
| 演劇の製作・興行 | — | 16,247 | — | — | 16,247 |
| 道路の維持管理・清掃等 | — | — | 20,143 | — | 20,143 |
| 不動産の保守・管理 | — | — | 8,480 | — | 8,480 |
| その他 | 35,426 | — | 1,003 | 1,020 | 37,450 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 158,240 | 16,247 | 29,627 | 1,020 | 205,135 |
| その他の収益 (※2) | — | — | 29,033 | — | 29,033 |
| 外部顧客への売上 | 158,240 | 16,247 | 58,660 | 1,020 | 234,169 |

(※1) アニメコンテンツの利用は、主に配信を中心とした番組販売や商品化権収入等であります。

(※2) その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社の子会社(孫会社)であるToho International, Inc. (以下「Toho International」)は、北米を中心にアニメーションの製作と配給を手掛けるGKIDS, INC. (以下「GKIDS」)の持分の100%を取得するための株式譲渡契約を2024年10月16日に締結し、10月17日付で株式を取得しました。Toho Internationalの決算日は12月31日であり、当第3四半期連結累計期間においては2024年9月30日現在の財務諸表を使用しております。

1. 企業結合の目的

当社グループは「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」において、成長戦略のキーワードとして「企画&IP」「海外」「アニメーション」を掲げ、魅力あるコンテンツの企画開発、IP創出の強化とともに、市場開拓の余地が大きい海外でのビジネス拡大を目指しております。

当社グループは、北米におけるアニメーションの製作と配給を手掛けるGKIDSを連結子会社とすることによって、日本及び世界中のアニメーションをより直接かつ広くファンに届けるための強い基盤を築き上げることが出来るものと考えております。さらに、日本発コンテンツの海外展開、クリエイターやスタジオの海外進出を図ってまいります。

2. 被取得企業の概要

| | |
|-------|--|
| 名 称 | GKIDS, INC. |
| 事業内容 | 北米を中心とした海外におけるアニメ作品の配給及び配信プラットフォームへの販売、企画、製作 |
| 資 本 金 | 2 千 米 ド ル |

3. 企業結合の概要

(1) 企業結合日

2024年10月17日

(2) 取得した議決権比率

100%

4. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----|--------------|
| 取得の対価 | 現金 | 140百万米ドル(概算) |
| 取得原価 | | 140百万米ドル(概算) |

(注) 取得の対価には条件付取得対価(公正価値)が含まれており、当取得による企業結合は米国会計基準に基づき会計処理いたします。なお、取得原価の一部が未確定であるため、暫定的な金額であります。

5. 資金の調達方法

自己資金を充当